

1 単元名 Program 8 Origami

2 本時の目標

- (1) can を用いた疑問文と応答の仕方を理解し、表現できる。〈知識・理解〉〈表現〉
- (2) Can you ~?を用いたコミュニケーション活動に意欲的に参加する。〈関心・意欲・態度〉〈表現〉

3 研究主題との関連

本校の研究主題「意欲的に学習に取り組み、確かな学力を身につけた生徒の育成」～豊かな表現力をめざした活動場面の工夫～を受け、本時では、Can you ~?を用いて「できること」について、問答しあう活動を行う。can の使い方に慣れ、自己表現につながるようにしたい。

4 展開

学習活動と内容 (ゴシック体は表現力育成の活動)	時配 (形態)	指導上の留意点 (○) 支援の工夫 (・) 評価 (◇)	資料 教具
1 Warm-Up をする。 (1)英語で簡単な挨拶をする。 (2)チャンツを行う。 2 ALT と JTE の会話を聞き、本時の課題を理解する。	5 (一斉) 10 (一斉)	○明るい雰囲気での学習が始まるよう配慮する。 ◇大きな声で言えたか。 (関・意・態)【観察】 ○会話は2回繰り返し、ポイントがわかるようにゆっくり言う。	リピーターシート
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> Can you <u>cook sukiyaki</u>? Yes, I can. / No, I can't </div>			
(1) 対話の内容について確認する。 (2) “Can you ~?”の表現を理解し、ALT のあとについて口頭練習をする。 3 コミュニケーション活動を行う。 Can you ~?を使って、いろいろな人と問答しあう。 (1) ワークシートについて質問の意味を確認しながら、自分の答えを記入し、各自で3つの質問を書く。 (2) 8人の人と問答しあい、ワークシートに記入する。 (3) 聞いてわかったことを文で表現する。 (4) 発表する。 (5) Can you ~?を使って、ALT に質問する。	25 (一斉) (個別)	○既習の“can”が前に出ることで、疑問文になることを理解させる。答え方についても理解させる。 ◇大きな声で口頭練習をしているか。 (関・意・態)【観察】 ・ワークシートを配付し、質問の意味を日本語で確認しながら進める。 ・教科書のWORD BOXから選んでよいことを話し、下位の生徒も書けるようにする。 ○スムーズに活動に入れない生徒に支援する。 ◇積極的に活動に参加したか。 (関・意・態) (表現) (理解)【観察】 ○机間指導し、文が書けていない生徒には支援する。 ・積極的に質問するよう促す。質問した生徒にはシールをわたす。 ◇積極的に質問することができたか。 (関・意・態) (表現) (理解)【観察・発表】	ワークシート シール
4 板書事項をノートに写す。 ワークの問題をやる。	10 (個別)	○書き終わったらワークをやるよう指示する。	